

2015（平成27）年度～2017（平成29）年度

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）山陰教区総合基本計画

1. 基本理念

宗祖親鸞聖人は、混迷した世の中に、阿弥陀如来に等しく救われていく往生浄土の教えを示してくださいました。そして苦悩する人々と共に「御同朋・御同行」の精神でお念仏の教えを広く伝えていかれました。宗門にかかわる全ての人々がそのお心を受け、教団の抱える課題克服のために、「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ基幹運動（門信徒会運動・同朋運動）に取り組み、力を尽くしてこられました。

専如門主は、「伝灯奉告法要についての消息」において「私たちは、凡愚のまま摂め取って捨てないと働き続けていてくださる阿弥陀如来のお慈悲を聞信させていただき、その有り難さ尊さを一人でも多くの方に伝えることが大切です。それとともに仏智に教え導かれて生きる念仏者として、山積する現代社会の多くの課題に積極的に取り組んでいく必要があります」とお示しいただきました。

実践運動は、基幹運動が積み重ねてきた成果を大切に継承し、さらに未だ解決できない諸問題を克服するために、具体的な達成目標を設定し、宗祖親鸞聖人のみ跡を慕い、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現をめざし活動を展開していきます。

2. スローガン

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

3. 実践目標

日常の寺院活動：地域と寺院とのつながりを大切にする

4. 達成目標

- ①既成の形にとらわれない、やさしい寺院環境をつくる
- ②お寺を地域のコミュニティーにする

以 上